

令和6年度学校関係者評価報告書

東日本栄養医薬専門学校は、本校の目的および社会的使命を達成するため、教育活動の状況について、自ら行う点検及び評価を実施し、さらに学校関係者評価委員会での評価を実施し、この報告書にまとめた。

基準 1	教育理念・目標
基準 2	学校運営
基準 3	教育活動
基準 4	学修成果・教育成果
基準 5	学生支援
基準 6	教育環境
基準 7	学生の受け入れ募集
基準 8	教育の内部質保証システム
基準 9	財務
基準 10	社会貢献・地域貢献

令和6年6月29日

学校法人 山崎学園
東日本栄養医薬専門学校

基準 1 教育理念・目標

教育理念・目的については、栄養士学科、医薬学科共に定められ、パンフレット・募集要項・ホームページ等を使用し広く明示するに止まらず広報担当者が積極的に高校等に出向き周知している。なお、新型コロナウイルスが第5類に移行したため、高等学校等での説明会がコロナ過前に戻りつつあるので、積極的に学校訪問や会場ガイダンスへの参加を行い、直接生徒にアプローチするよう努力している。また、ホームページやパンフレット郵送といった手段を執らざるを得ないと言った状況には変わりがない為、ホームページ等の更新を頻繁に行い周知に努めている。

学校の特色として栄養士学科では、制約のある中、調理実習時間を拡充し栄養士本来の業務に必要な知識・調理技術に止まらず「調理の得意な栄養士」を目指している。

医薬学科は、薬に関する知識、販売技術等を机上の学問に止まらないようデュアルシステムを採用し、実務経験を積ませている。

基準 2 学校運営

学校運営については、姉妹校との協業で実施される学校行事を始め学校独自の行事も年度当初までに計画している。今年度も、新型コロナウイルス感染症等の罹患状況を注視しながら進めて行きたい。

基準 3 教育活動

各学科において、それぞれ、養成目的、資格取得、就職分野を明確にし、教育目標、教育活動は、関連する業界のニーズに的確に対応するよう情報収集や連帯に努めている。

栄養士学科は、厚生労働省の指定する栄養士養成施設としてのカリキュラムに加え2年の夏休み期間中に実施する給食校外実習等を活用し、現場管理栄養士からの意見なども集約し、即戦力となり得る栄養士を目指してカリキュラム編成を行っている。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れが難しい施設もあるが、全員の校外実習施設の確保が見込めるため例外なく全員を給食校外実習に参加させる予定である。

医薬学科は、登録販売者試験に合格する事のみならず、校外実務研修（インターンシップ）の実施期間中に現場管理者より卒業までに必要な店舗運営等に関する情報を収集し、店舗運営等に必要な知識・技能を身につけるためのカリキュラム編成を行っている。なお、本年度の校外実務研修も予定通り実施している。

基準 4 学修成果・教育成果

教育成果の一つとして就職実績を上げる事が出来る。両学科とも就職担当者と担任が連携して就職指導に当たっており、毎年高い内定率になっており、栄養士学科の生徒の多くは栄養士の資格を活用できる給食関連の企業へ、医薬学科の生徒の多くは、登録販売者の資格を生かしたドラッグストア関連の企業に就職する事が出来ている。

栄養士学科は、2年間の成果として卒業と同時に栄養士の資格を取得することが出来る。また、食育栄養インストラクターや希望者には介護食士などの資格取得も進めている。

医薬学科は、本学科の登録販売者試験の合格率が高いので、今後とも高い合格率が維持出来るよう工夫と努力をしていく。さらに、サプリメントアドバイザー等各種資格の取得にも力を入れて行く。

基準 5 学生支援

各クラスに担任・副担任を設け、クラス運営、日常の指導を行っている。また、就職活動に関してもロングホームルーム等を活用し、履歴書の書き方を始め、就職担当による就職指導・模擬面接指導等が実施されている

課外活動に関して、食育研究サークルやボランティアサークル・バドミントンサークル等、他校と連携し運営するとともに、教職員を顧問として配置し、適正な運営が行われている。

保護者会を組織し、保護者会の活動を通じて保護者との連携を取る努力がされている。

基準 6 教育環境

清掃の行き届いた施設で勉強出来ているので、特に問題無いと思う。

施設設備は厚生労働省指定の栄養士養成施設の要件は満たしているものの、一部施設の老朽化が見られるので施設の更新を引き続き行い最新の教育施設での実習を心がけている。また、ハードウェアの充実だけではなく、近年多発している地震等の災害に対応するための防災等ソフト面の充実にも力を入れて行きたい。

基準 7 学生の受け入れ募集

パンフレットやホームページだけではなく、SNSなども積極的に活用して入学希望者に必要な情報は提供されている。また、広報担当者による計画的、組織的な募集活動の結果栄養士学科はほぼ定員を満たすことが出来ている。なお、医薬学科は定員を満たす事ができず今後とも一層の工夫と努力が必要と思われる。

基準 8 教育の内部質保証システム

関係法令や専門学校としての設置基準は厳守しており、問題ないと認識している。学校評価は、自己点検・評価に止まり十分な改善計画を策定するに至っていない。今後、学校関係者評

価の意見も参考にしながら改善に努めたい。

基準 9 財務

財務状況が公開され経営の基盤が明確に示されている。また、財政基盤の安定のための業務執行および中長期的財政基盤についても安定していて安心できる。

会計監査は監査法人により適正に行われ、理事会、評議会に報告され適正な会計監査が行われている。

基準 10 社会貢献・地域貢献

食文化の発信と、学生たちの学習の発表を目的に学園祭を通常開催した。また、ボランティアサークルなどの学生主体のサークルは老人福祉施設への慰問などを行っていたが、コロナウイルス感染症の影響で中止が続いている施設が多くなかなか実現に至らない。本年度は各種イベントが通常開催されるようなので、積極的に参加したい。

自己点検・評価表

実施日：令和 6 年 6 月 29 日

学校名：東日本栄養医薬専門学校

1. 学校の教育目標

本校は、学校教育法その他、関係諸法規に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い教育を行い、衛生並びに医療に関する知識技術を習得させ、もって社会公共の福祉に貢献できる人材を育成することを目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

栄養士学科、「調理の出来る栄養士」を目標に栄養士養成施設として必要なカリキュラムを実施するととどまらず、調理・製菓実習やビジネスマナー、情報処理などより実践的な技術・技能を身につけることを目標とする。

医薬学科、登録販売者試験に合格する事を目標に即戦力になれるよう、ドラッグストア等での実務研修を行うと平行して、医薬品だけでなく栄養や運動などの生活面、サプリメントの説明などをアドバイス出来ることを目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス例
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）							
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	A	④	3	2	1	学則等	
1	1	2	学生・保護者に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	③	2	1	パンフレット等	
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	④	3	2	1	学則・細則等	
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	2	③	2	1	HP 等	
1	1	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）							
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられ	A	④	3	2	1	学習計画	

			ているか（コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）						
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか （学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	A	4	③	2	1	学外実習受け入れ 企業との情報交換
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	④	3	2	1	パンフレット等

① 課題

教育理念や目標は、各種媒体を活用し積極的に伝える努力はしているが、ターゲットの生徒達に正しく伝わっているかを測定することが難しく感じている。

社会のニーズ等を掌握する手段はあるが、時代の変化の早さに対応仕切れない部分がある。特に栄養士学科は、栄養士養成施設としての標準カリキュラムがあり、決められたカリキュラムの範囲内での変更となるため、大きな変更が困難である。

② 特機事項

2 学校運営				カテゴリー	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				エビデンス例
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）						
2	1	1	教育方針や教育目的に沿った運営方針が策定されているか	A	④	3	2	1	
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその浸透度を確認しているか	B	4	③	2	1	
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定共有しているか	A	④	3	2	1	シラバス
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	年間行事計画
2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	議事録
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	3	②	1	寄付行為
2	3	3	組織機能図があるか	A	4	3	②	1	
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか	B	④	3	2	1	職員会議議事録

2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	4	③	2	1	出勤簿
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	施設設備点検簿
2	4	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員的能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	履歴書
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、 または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4	3	②	1	
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	3	②	1	
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	③	2	1	
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	③	2	1	
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果の評価し、文書により記録しているか）	A	4	③	2	1	
2	4	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	4	3	②	1	
2	4	24	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、 <u>専門能力開発の計画</u> を作成しているか（教職員研修計画の作成）	B	4	3	②	1	
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	③	2	1	
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	3	②	1	
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	3	②	1	
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	3	②	1	
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	③	2	1	私立学校法施行規則

2	5	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか （情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	4	㊸	2	1	

① 課題

意思決定や人事評価に関する決定プロセスに不明瞭な部分があり、明瞭化されていない。

② 今後の改善方策

学校長を中心とした学校運営に注力し、スムーズな意思決定をはかれるよう改善を行う。一方で、給与体系に関しては、専門学校という性質上前職での経験を考慮する必要があるため、今後の課題として残る。

③ 特記事項

3 教育活動			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス例
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	④	3	2	1	入学後ガイダンス
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	④	3	2	1	
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	㊸	2	1	
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	④	3	2	1	シラバス
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	④	3	2	1	
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示	B	④	3	2	1	

			され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか						
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	④	3	2	1	
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	③	2	1	
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	4	3	②	1	
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	3	②	1	
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか（カリキュラム作成委員会等）	B	④	3	2	1	
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	4	③	2	1	
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	3	②	1	
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	④	3	2	1	
3	2	83	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	④	3	2	1	
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	④	3	2	1	
3	3	中 項 目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	
3	3	2	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	④	3	2	1	
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	④	3	2	1	
3	3	4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	4	③	2	1	

3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	④	3	2	1	
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	B	④	3	2	1	
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	③	2	1	
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	3	②	1	

① 課題

目標の設定、教育方法・評価方法は、適切な評価体制を整え組織的に対応している。その一方で、授業評価等の内部評価に関して不十分な部分がある。

② 今後の改善方策

教員のスキルアップを図るための教員研修を始め、学生に対するアンケートの回数を増やす等積極的な情報収集に努め、より満足度の高い授業の実現に向けて努力する。

③ 特記事項

4 学修成果・教育成果				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
4	1	中項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	③	2	1	
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	4	③	2	1	

4	1	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）					
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	④	3	2	1
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	④	3	2	1
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	④	3	2	1
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	④	3	2	1
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）					
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	④	3	2	1
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	4	③	2	1
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	③	2	1
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	4	③	2	1
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	④	3	2	1
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）					
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	4	③	2	1

① 課題

就職に関しては、就職担当者およびクラス担任の指導により高い内定率になっている。資格・免許の取得に関し、栄養士学科は卒業と同時に栄養士資格が付与されるため栄養士資格取得の為の指導に注力する傾向がある。医薬学科は、登録販売者試験を中心に関連科目の資格に挑戦しているが、不十分な部分が見受けられる。

② 今後の改善方策

両学科とも関連する資格試験を積極的に告知し、受験を促すまた必要に応じて対策授業の強化等積極的な受験支援に心がける。

③ 特記事項

5 学生支援			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1					エビデンス例
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	③	2	1	
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか）	A	4	③	2	1	
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	4	3	②	1	
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	④	3	2	1	
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	③	2	1	
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	④	3	2	1	
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	4	③	2	1	
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）						
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	④	3	2	1	
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	3	②	1	
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	③	2	1	
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	④	3	2	1	

5	6	中項目	保護者との連携（保護者・保証人との連携体制を構築しているか）						
5	6	1	保護者と適切に連携しているか（保護者のニーズを把握しているか）	A	4	③	2	1	
5	6	2	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	3	②	1	
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	④	3	2	1	
5	7	21	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	④	3	2	1	
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	4	③	2	1	

① 課題

修学支援・就職等進路支援はクラス担任を中心として組織的に運用されている。学生相談もクラス担任が中心となっており相談窓口等の設置はない。また、中途退学への対応はその都度対応している傾向がある。

② 今後の改善方策

クラス担任への負担が大きくなり、クラス全員への配慮が十分でない部分がある。各クラスに副担任を配置し、クラス担任との協業によりクラス担任の負担を軽減し、改善をはかる。中途退学者への対応は、出席状況の変化をいち早く掌握し保護者との連携を取ると同時に、教務責任者を含めた面接を行い改善を促す。

③ 特記事項

6 教育環境				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例
6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	④	3	2	1	
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	④	3	2	1	

6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	④	3	2	1	
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	④	3	2	1	
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	④	3	2	1	
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にはまたは適宜行っているか	A	④	3	2	1	
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか）						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	④	3	2	1	
6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	④	3	2	1	
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	④	3	2	1	
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	④	3	2	1	
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	A	④	3	2	1	

① 課題

教育に必要な施設設備は十分に整っていると認識している。その一方で一部の施設設備には経年劣化が進んでいる部分が見受けられる。

② 今後の改善方策

経年劣化が進んでいる施設設備に関し、計画的な設備更新を心がける。

③ 特記事項

7 学生の受入れ募集			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス例
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)		

7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	④	3	2	1	
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	④	3	2	1	
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	④	3	2	1	
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	④	3	2	1	
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	④	3	2	1	
7	1	22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	A	④	3	2	1	
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	A	4	③	2	1	
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	A	4	③	2	1	
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	4	③	2	1	
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	

① 課題

学生募集は組織的、計画的に実施されているため問題ないと認識している。

今後の進路選択に迷っている生徒に、栄養士や登録販売者の必要性ややりがいをどのように伝えて募集につなげていくか

② 今後の改善方策

出張授業等の機会に現場の教員を派遣し、栄養士や登録販売者の魅力ややりがいを積極的に発信して行く。

③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	④	3	2	1	
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	③	2	1	
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	④	3	2	1	
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	③	2	1	
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	3	②	1	
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	③	2	1	
8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	③	2	1	
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	A	④	3	2	1	
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	4	③	2	1	
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	4	③	2	1	
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	③	2	1	
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	3	②	1	
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	3	②	1	

8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	3	②	1	
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	3	②	1	
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	4	③	2	1	
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	④	3	2	1	
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	④	3	2	1	

① 課題

関係法令・設置基準は各法令を厳守しているが、個人情報保護には不十分な部分が見受けられる。

② 今後の改善方策

自己点検を行った結果に基づき、学校関係者評価委員会の意見を参考に組織的な対応に心がける。

③特記事項

9 財務				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
9	5	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	④	3	2	1	財務諸表
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	④	3	2	1	予算案
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	財務諸表
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	④	3	2	1	会計監査
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	④	3	2	1	定例理事会・評議委員会
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）						

9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	HPでの公開
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	④	3	2	1	HPでの公開

① 課題

特に問題を認識していない。

② 今後の改善方策

特にない

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	3	②	1	
10	2	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	B	④	3	2	1	
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	3	②	1	

① 課題

施設の稼働率等の問題もあり、積極的にアプローチ出来ていないように思われる。

② 今後の改善方策

施設の稼働状況等を勘案し、できうる限りの受け入れを心がけたい。

③ 特記事項

1 1 国際交流（必要に応じて）				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1					エビデンス例
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学（留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか）							
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	A	4	3	2	①		
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	A	4	3	2	①		
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	A	4	3	2	①		
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	A	4	3	2	①		

① 課題

留学生受け入れに関する体制そのものが整っていない。

② 今後の改善方策

受け入れる学科により向き不向きがあるが、今後受け入れ可能な学科を精査し、受け入れ可能な学科では、積極的なアプローチを心がけたい。なお、本校には日本語教育を行う課程がないため、日本語教育が修了し基本的な日本での生活習慣を身につけた学生を対象とすべきであると考えます。

③ 特記事項